



証券コード:6267

平成21年11月21日

日興アイ・アール株式会社主催
個人投資家向けIR説明会



包装システムの市場創造型トータルプランナー
ゼネラルパッカー株式会社



目次

I．会社概要

II．業界の状況と当社の特徴

III．事業環境と業績動向

IV．中期経営計画ならびに

2010年7月期業績見通し

I. 会社概要

会社概要(2009年7月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 8,994千株
- 売買単位 1,000株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機の製造・販売
(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)
- 従業員数 109名(その他臨時雇用者23名)
- 事業所 本社・工場(愛知県)、東京営業部

沿革

- 1961年 東陽商事(有)を設立
- 1962年 (株)ゼネラルパッカーを設立
- 1966年 東陽商事(有)をゼネラルパッカー販売(株)へ改称
- 1969年 ゼネラルパッカー販売(株)が(株)ゼネラルパッカーを
吸収合併し、商号をゼネラルパッカー(株)と改称
- 1977年 本社工場を新設
- 1989年 本社工場に隣接して社屋(北館)を新設
- 2003年 ジャスダック市場に上場
- 2004年 本社工場南隣に社屋(南館)を新設
- 2006年 平成17年度愛知ブランド企業に認定
- 2007年 本社工場に隣接して工場(東館)を新設



Aichi
Quality

認定番号214

事業内容-1

当社

身近な商品の包装に、当社の機械が活躍しています。

包装機械・包装システム等を各ユーザーの工場等へ販売

高品質・高難易度の包装分野

主要ユーザー

化学関連業界

健康食品・医療用品
洗剤 等

食品業界

食品全般
製粉・製菓・精米・製氷・削り節・製麺
製茶・コーヒー 等

その他

ペットフード
種苗 等

病院

輸液バック

カテーテル

粉末薬品

各店舗

スーパーマーケット
コンビニエンスストア
ドラッグストア
ホームセンター 等

消費者

* 当社機械で包装されている主な袋詰商品例

小麦粉

ふりかけ

花かつお

パン粉

ナッツ類

ロックアイス

粉末茶

お米



スパゲティ

ドリップコーヒー

肥料

野菜・花の種

キャンディ

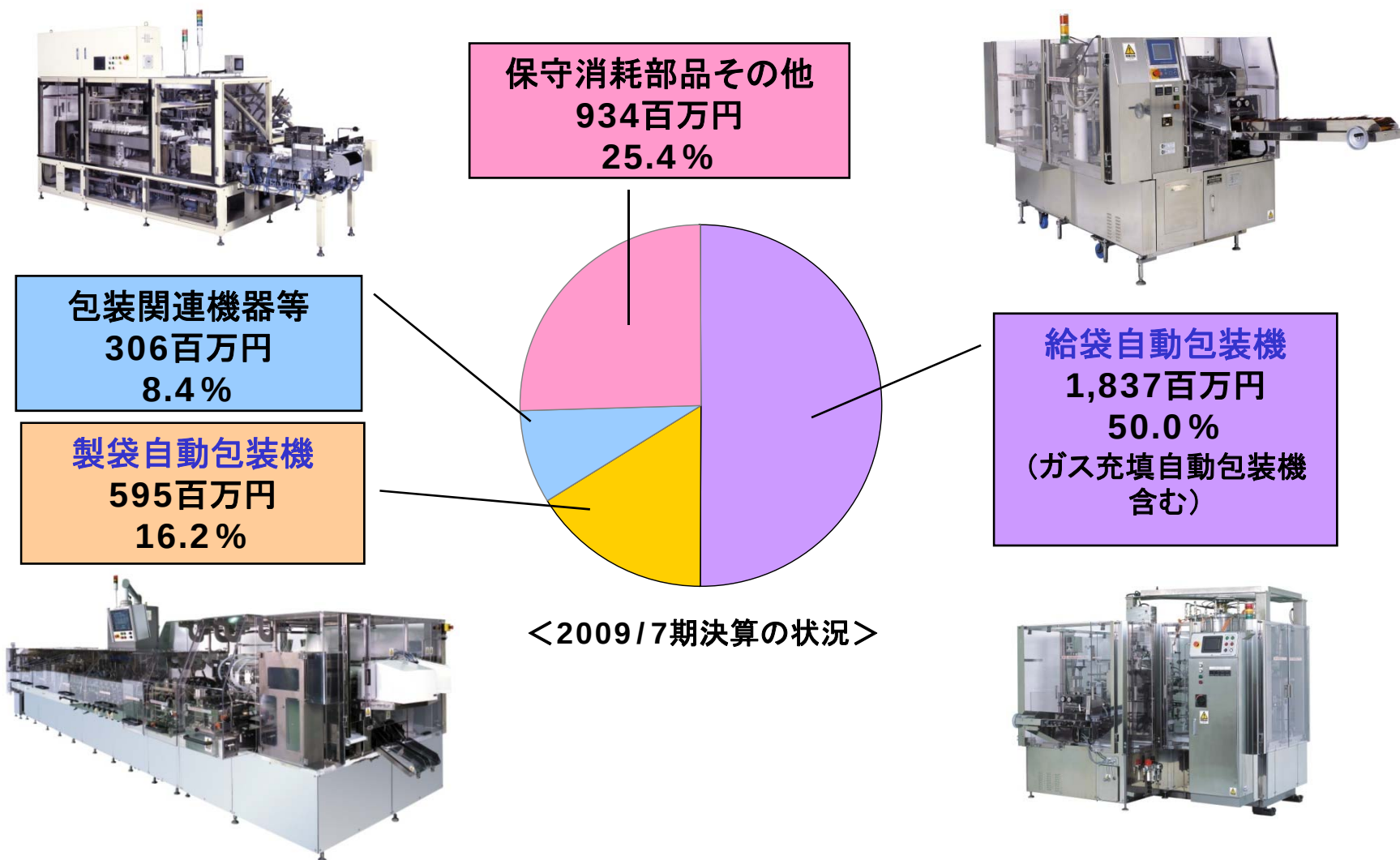
健康食品

ペットフード

粉末洗剤

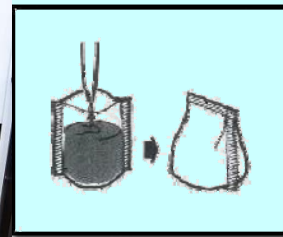
事業内容-2

袋詰用自動包装機の売上高が約7割



品目内容

対象物(粉末・顆粒・固形物等)
を袋に充填して包装する機械



袋詰用包装機

給袋自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装装置

菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装機。多品種少量生産向け。

ガス充填自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装・ガス充填装置

花かつお、ナッツ類等の袋詰用包装機。

製袋自動包装機

フィルム



製袋装置

充填・包装装置

充填物は給袋自動包装機と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。

包装関連機器等

付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、段ボールケーサー、各種包装システム等

保守消耗部品その他

当社販売機械の保守、修理・交換用部品、印字機、検査装置等の取付・改造等

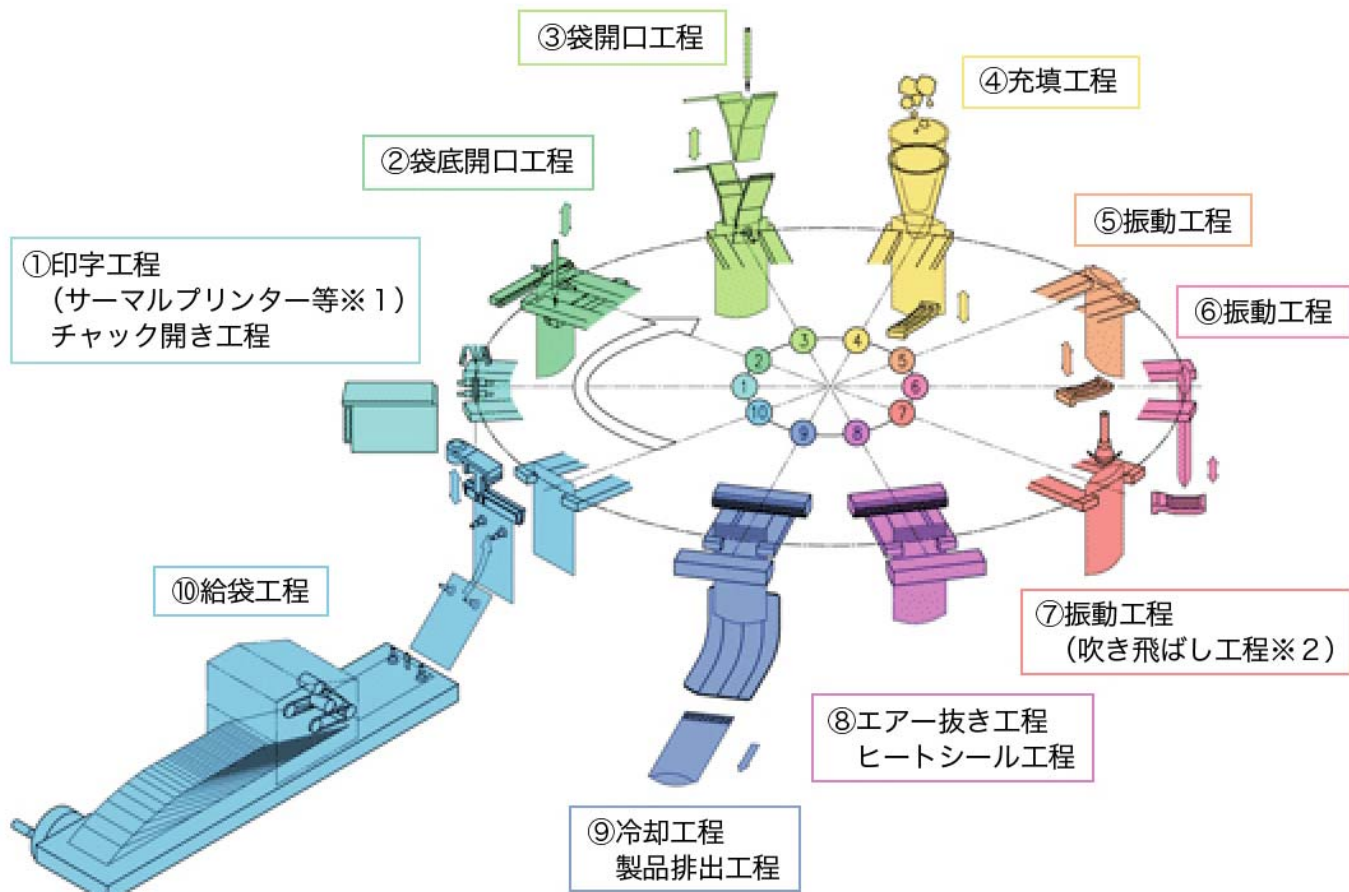
袋詰用包装機⇒ロータリー式包装機が主力

ロータリー式包装技術

汎用性高い

省スペース

高難度の包装に対応



Ⅱ. 業界の状況と 当社の特徴

包装機械業界

単位:億円

機種別	生産高
個装・内装機械	3,281
包装用計量機	202
充てん機	421
びん詰機械	472
製袋充てん機	579
真空包装機	92
その他	1,511
外装・荷造機械	749
ケース詰機	145
その他	603
合 計	4,030

(社)日本包装機械工業会
「包装機械及び荷造機械生産高統計」
平成20年度実績

企業数 420社以上(専門メーカー 約240社)
中小企業が約9割

主な上場企業

専門メーカー:東京自働機械製作所

兼業メーカー:CKD、渋谷工業、ファブリカヤマ、
オーエム製作所 等

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

当社:包装機械の専門メーカー

■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化

・高品質・高難易度の包装分野

・チャック付袋包装、ガス充填包装等

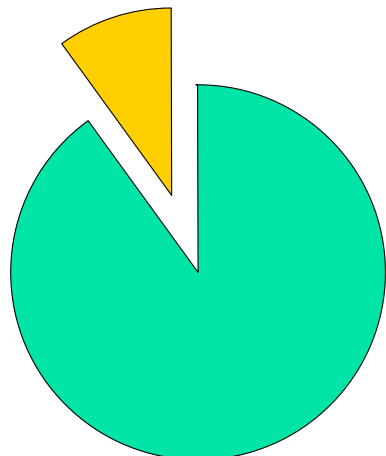
主な競合先(ロータリ式包装機メーカー)

・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力

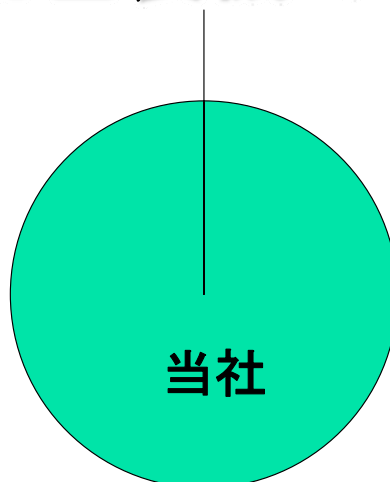
・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

多くの分野の袋詰用包装機でNo.1シェアを獲得

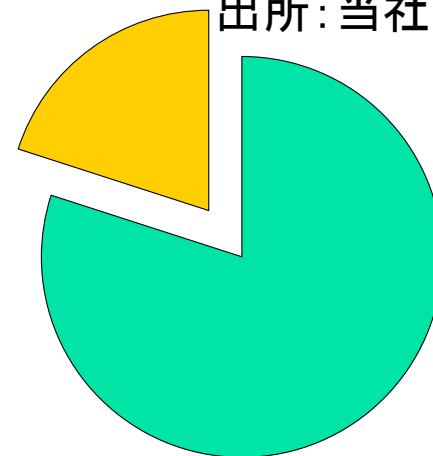
出所: 当社推定



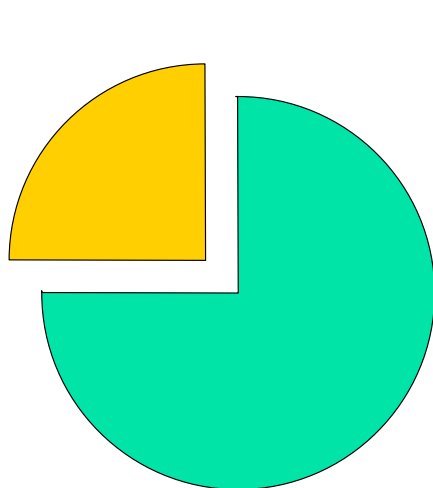
製粉



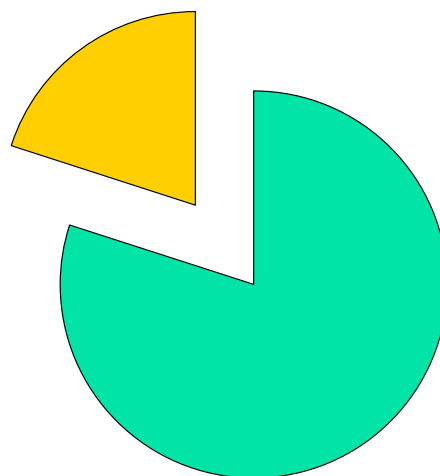
かつおミニパック



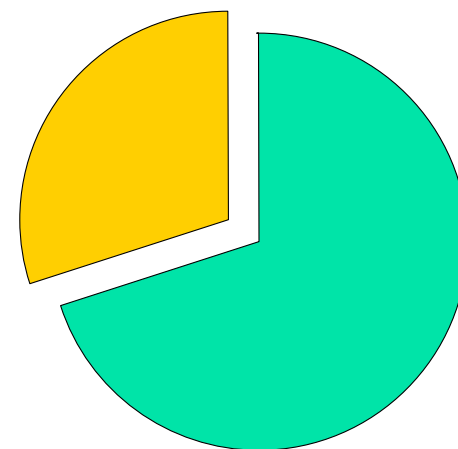
ロックアイス



ドリップ式コーヒー



精米



健康食品小袋

特徴－技術力

① 国内最高の高ガス置換技術を有する

■ 削り節用包装機、ナッツ類用包装機でトップシェア

風味の保持←不活性ガスを封入、酸素を無い状態へ

当社：高ガス置換型

⇒残存酸素濃度 0.5 % 以下

他社：簡易ガス置換型

⇒残存酸素濃度 2 % 以上



ガス充填システム
搭載機種 of 拡大

他分野への展開

ペットフード用ガス充填包装機
海外高級ペットフードメーカーの
世界各地の工場へ納入



特徴－技術力

②チャック付袋対応機種の豊富なラインナップ

■チャック付スタンドパウチ
対応機種(STタイプ)

■給袋自動包装機
10機種

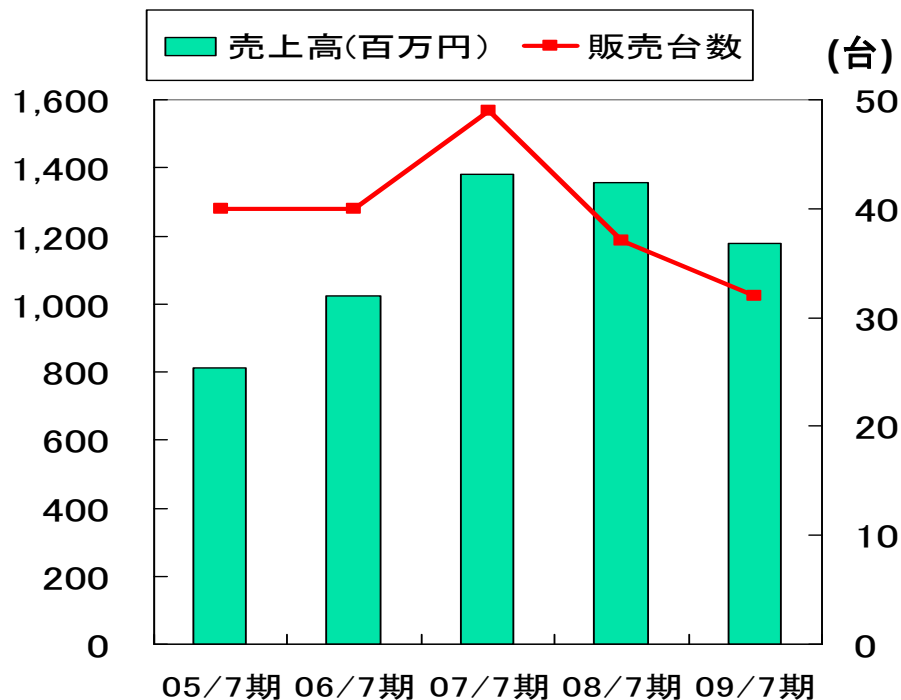
■製袋自動包装機
3機種

キャンディ、グミ、健康食品、小麦粉、
ペットフード等の包装

■チャック付製袋自動包装機
2機種

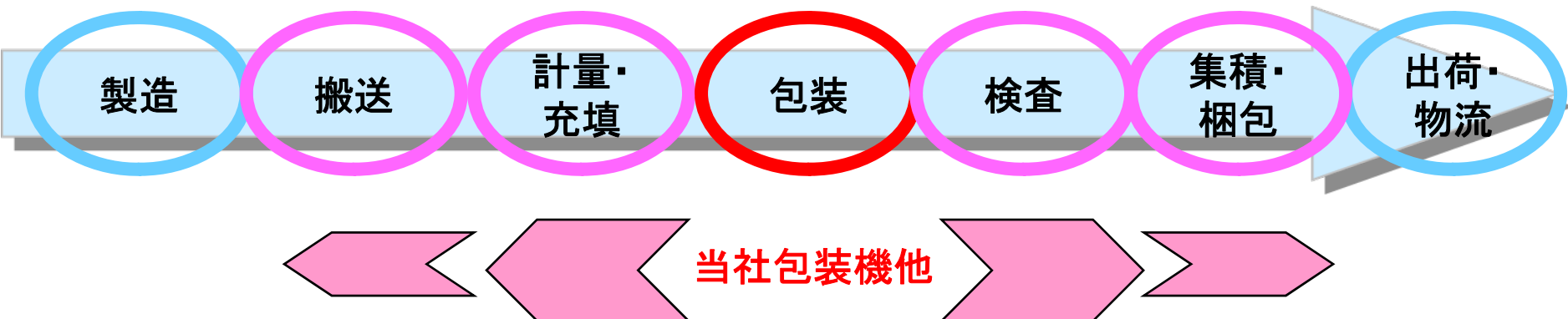


STタイプ 売上高／販売台数



特徴－技術力

③包装システムのトータルプランニング



- 当社包装機をベースとしたトータルシステムの対応が可能
- 実績例：輸液バッグ包装システム
ドリップ式コーヒー包装システム 等

特徴－技術力

④医薬品・医療機器の包装

■輸液バッグ包装システム

- ・ガス充填包装
- ・バッグの受取・搬送・挿入・包装

■医薬品包装例

- ・プラスチックアンプル
- ・錠剤(素錠・PTP包装品)
- ・粉体薬品 等

■医療機器包装例

- ・シリンジ
- ・輸液チューブ
- ・医療用針 等



輸液ソフトバッグ



素錠



プラスチックアンプル

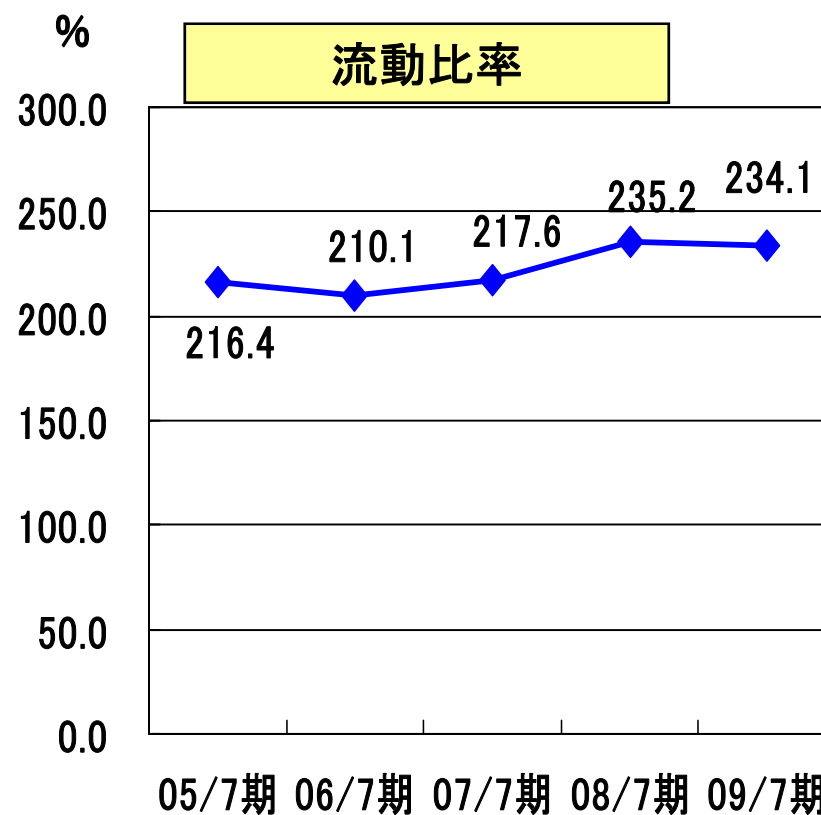
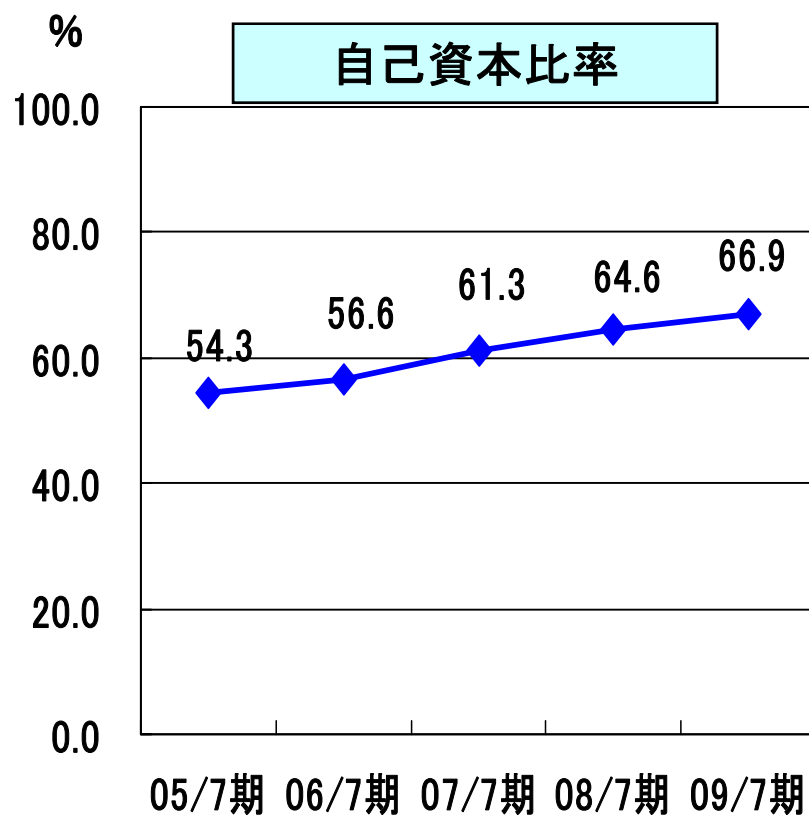


シリンジ

特徴－財務

⑤高い財務の安全性

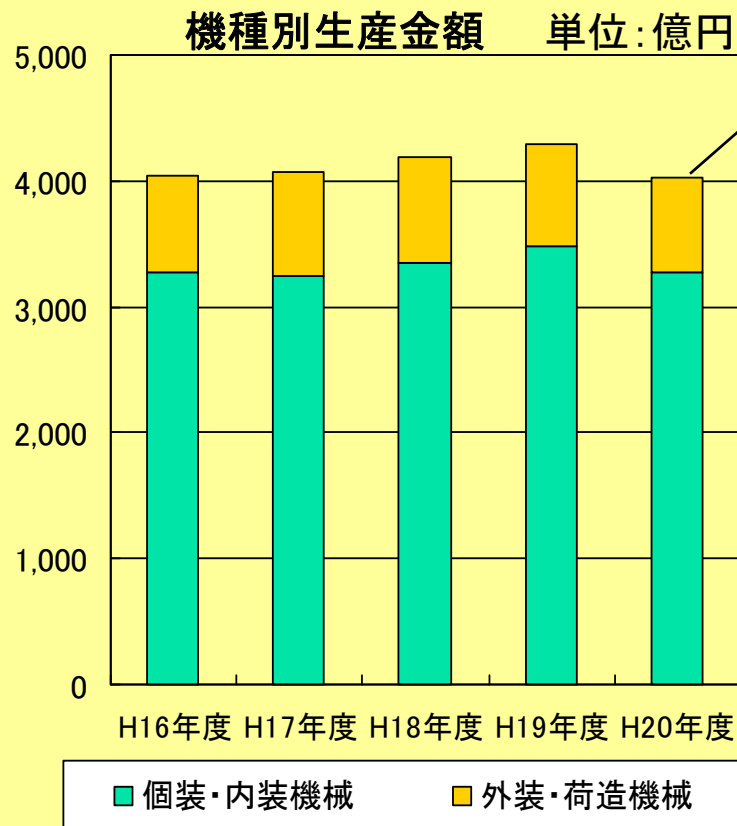
無借金経営



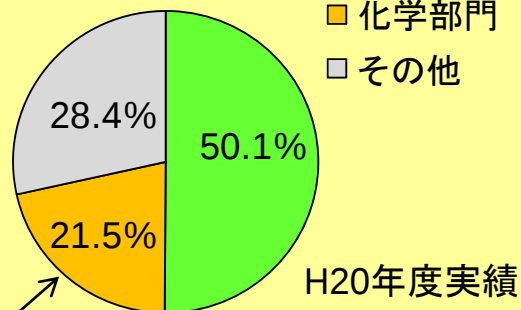
Ⅳ. 事業環境と業績動向

事業環境

(社)日本包装機械工業会
「包装機械及び荷造機械生産高統計」



需要先別



化学部門
その他部門(輸出含む)

医薬品・健康食品・ペット
フード向けの設備投資需要
は堅調

当社の影響(2009/7月期)

健康食品・ペットフード向けの
需要が増加

大型案件・高価格機種の受注
は堅調

アジア向けの受注高が増加

食品部門; 最大需要先

少子高齢化時代により、食品の総需要は低下傾向

食品メーカー
包装機械の設備投資
は抑制傾向

大手企業の安全・安心への対策投資や
合理化投資は底堅い

国内食品メーカーの
再編
海外進出の拡大

景気の悪化

中小型案件の需要が
減少

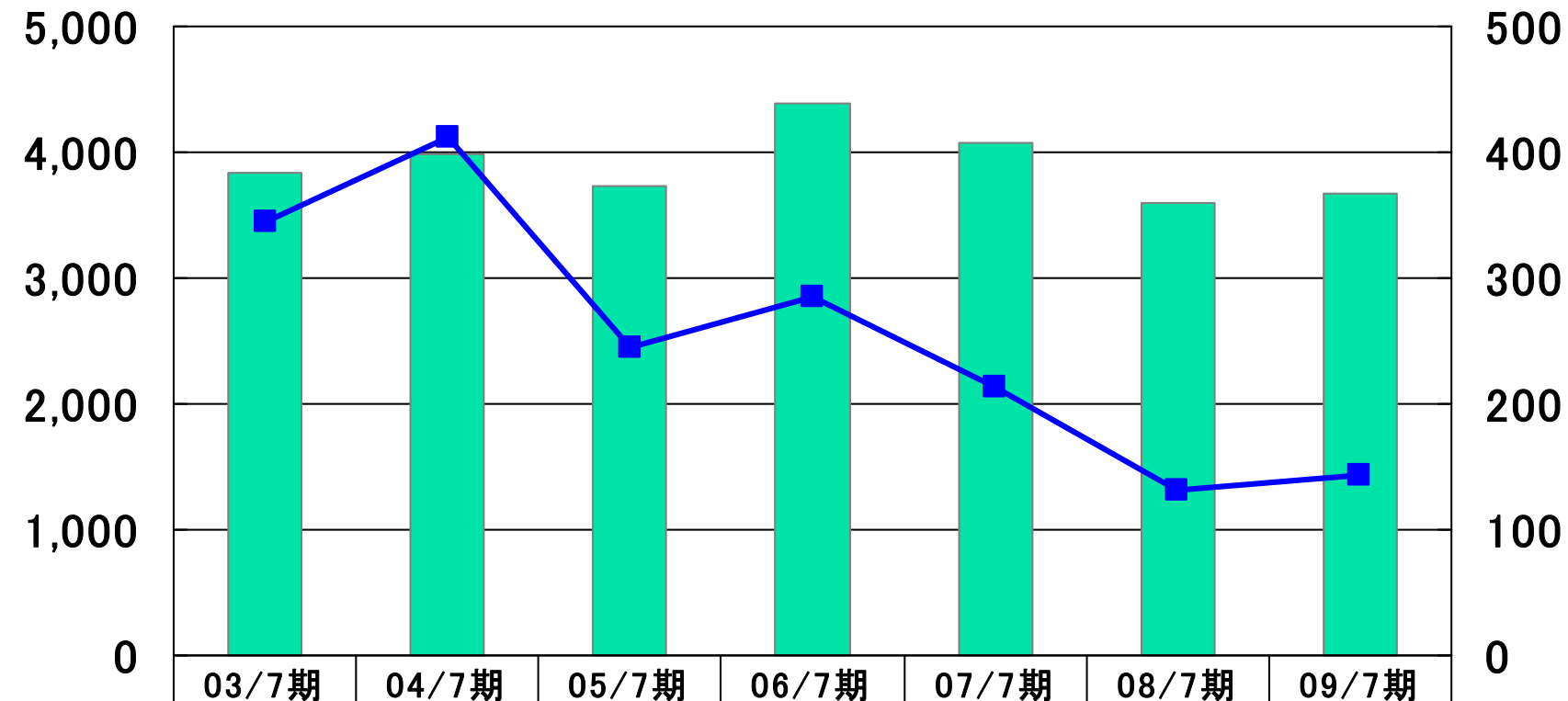
受注のキャンセル、
納期の延期が発生

業績推移

国内需要の減退の影響を受け、直近2期間の業績が低迷
08/10月以降の景気悪化の影響も発生したものの、
業績は僅かながら回復

売上高 (百万円)

経常利益



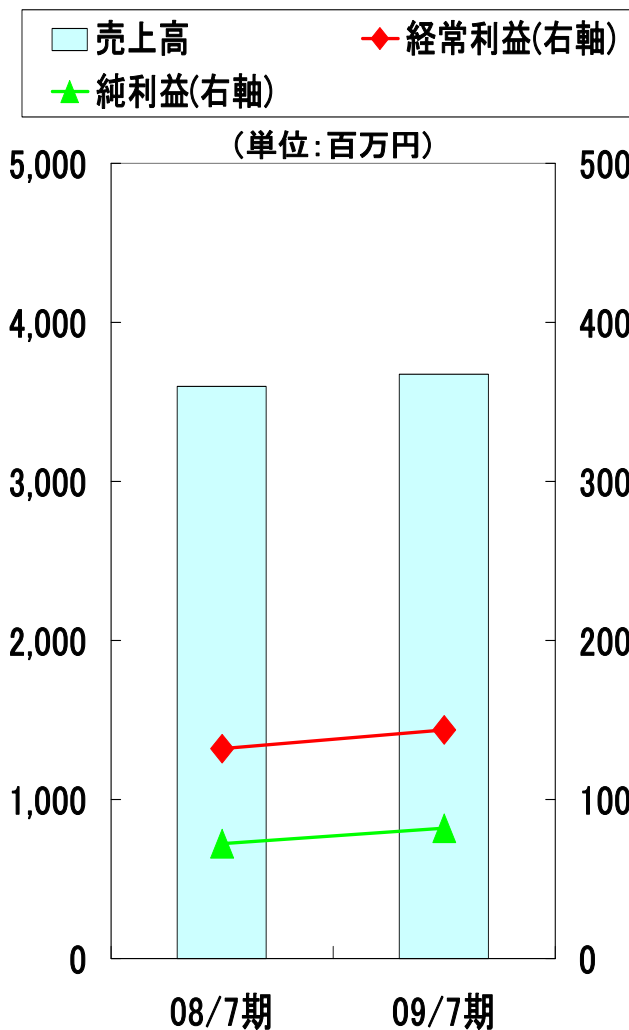
売上高	3,829	3,983	3,726	4,394	4,074	3,597	3,674
経常利益	345	412	245	285	213	132	144

2009年7月期決算の実績

高額案件の実績が増加し、売上高・利益ともに増収・増益

(単位: 百万円、%)

	08／7期	09／7期	前期比	
	金額 (構成比)	金額 (構成比)	金額	率
売上高	3,597 (100.0)	3,674 (100.0)	+77	+2.2
売上総利益	923 (25.7)	953 (25.9)	+30	+3.3
営業利益	117 (3.3)	135 (3.7)	+17	+15.3
経常利益	132 (3.7)	144 (3.9)	+12	+9.1
当期純利益	72 (2.0)	82 (2.2)	+10	+14.4

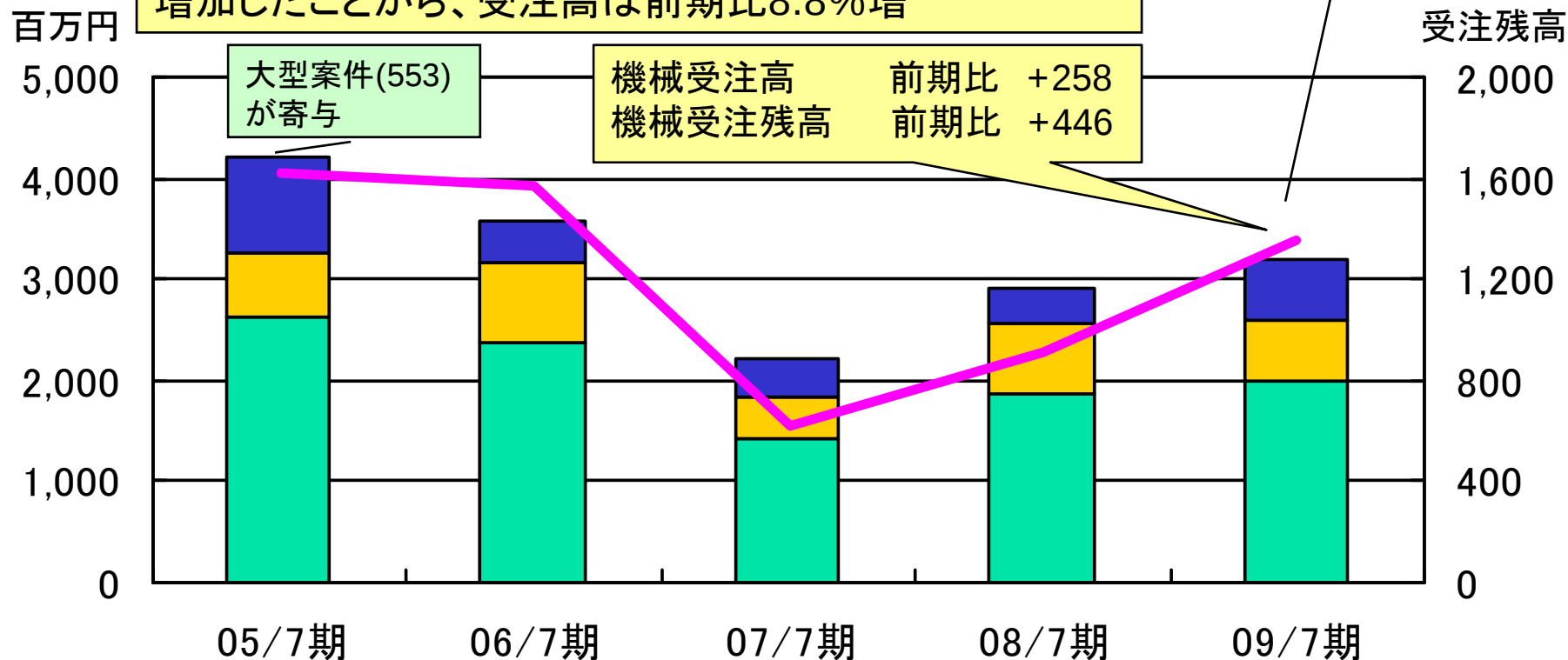


機械の受注動向

09/7期 四半期受注高

1Q	2Q	3Q	4Q
928	591	804	862

大型案件(1億円以上/件)と高価格機種種の受注件数が増加したことから、受注高は前期比8.8%増



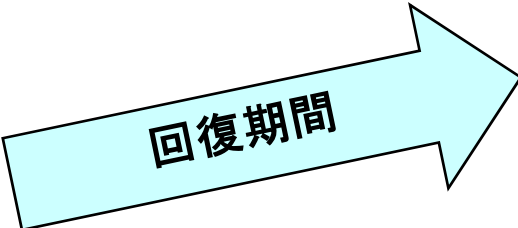
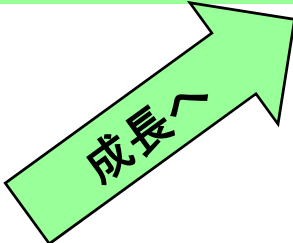
給袋自動包装機
包装関連機器等

製袋自動包装機

期末受注残高(右軸)

IV. 中期経営計画ならびに 2010年7月期業績見通し

第2次中期経営計画の位置づけ

第1次中計	第2次中計	第3次中計
業績動向  減収・減益	 回復期間	 成長へ
成長基盤作りが事業環境変化に対応出来ず 経営管理体制の強化は進展	将来の成長に向けた戦略的投資を推進	
新生ゼネラルパッカー(株)の社会的基盤固めの時期	将来の飛躍を目指すための成長基盤再構築の時期	飛躍の時期
06/7期 07/7期 08/7期	09/7期 10/7期 11/7期	12/7期～14/7期

企業ビジョン

(第1次中期経営計画で掲げたビジョンを継続)

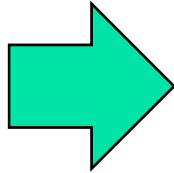
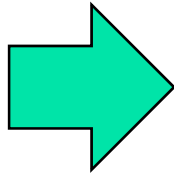
- 「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現



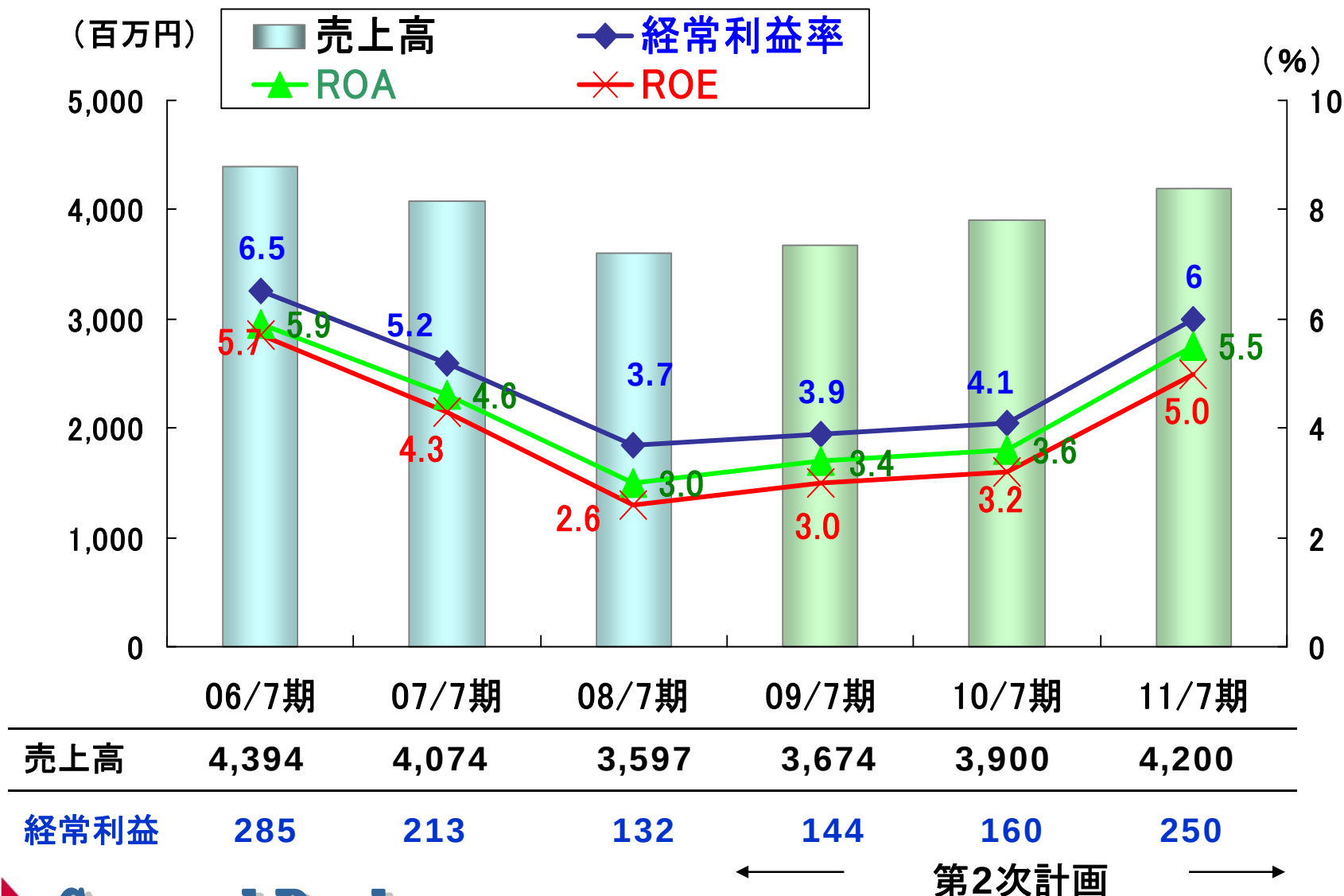
中期経営ビジョン

1. 世界に通用する包装機メーカー
2. 包装システムの高度化に応えるトータルプランナー
3. 挑戦心と活力あふれる『モノづくり企業』

中期数値目標

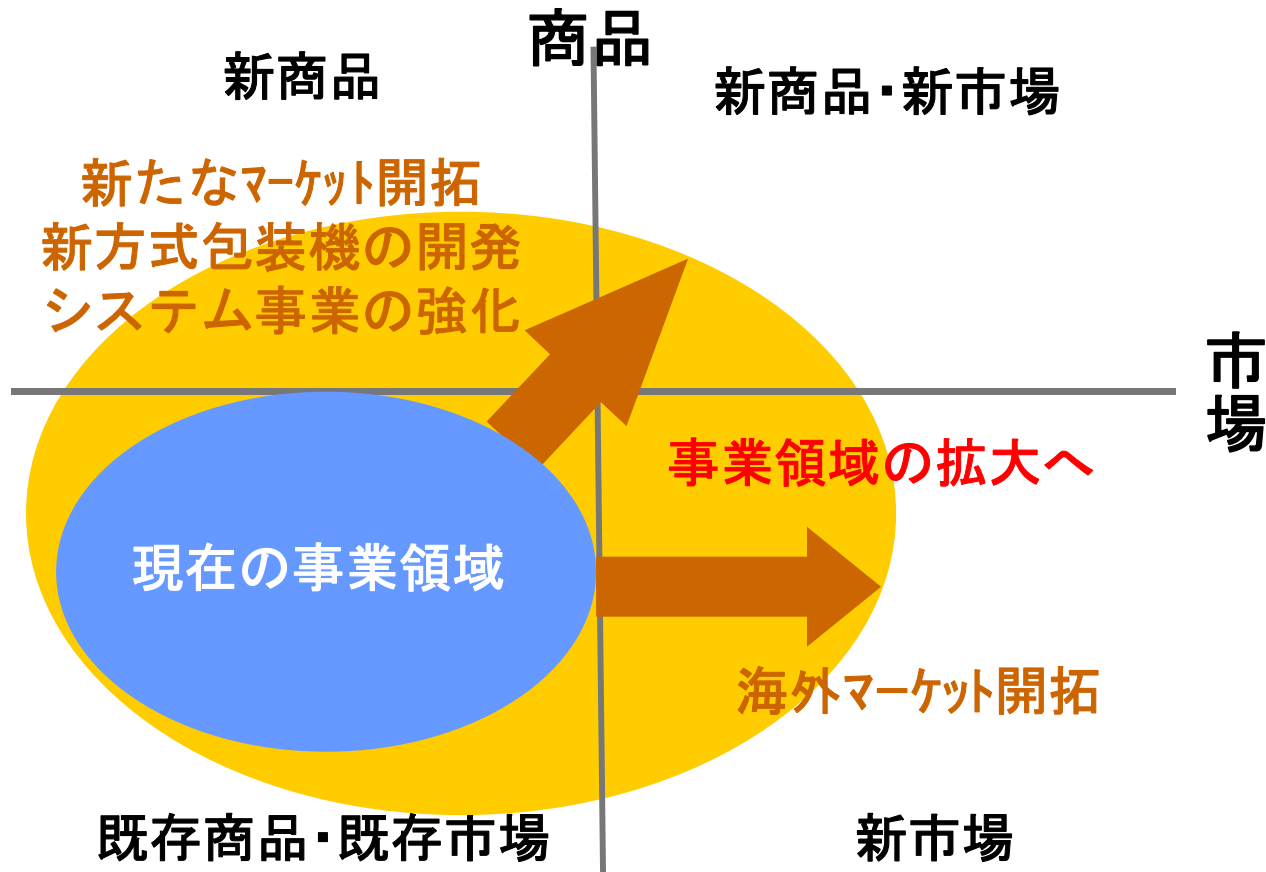
第1次中計最終期		第2次中計最終期	
■経営目標	08/7期実績		11/7期目標
売上高経常利益率	3.7%		5%以上
ROA(総資産経常利益率)	3.0%		5%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	2.6%		5%以上
■業績目標	08/7期実績		11/7期目標
売上高	3,597百万円		4,200百万円
営業利益	117百万円		245百万円
経常利益	132百万円		250百万円
当期純利益	72百万円		140百万円

経営目標・業績目標



基本戦略

「包装システムのトータルプランナーとして 事業領域の拡大を目指す」



事業計画モデル

売上高(単位:百万円)	09/7期実績	10/7期予想		11/7期計画
国内既存市場 (保守消耗部品含む)	3,000	2,900	→	2,800
海外市場 (海外部品含む)	364	300	↗	500
システム事業	310	500	→	500
新方式包装機 新たなマーケット開拓	0	200	↗	400
	3,654	3,900		4,200

基本戦略

- ①商品競争力の強化と業界別ニッチトップ戦略の推進を図り、ドライ分野のロータリー式自動包装機国内シェアNo.1を維持する
- ②新たなマーケット開拓のために、独創的な商品開発を推進する
- ③システム事業の独自性を強化し、売上拡大を目指す
- ④中長期的に海外売上高比率20%を目指して、海外マーケット開拓の強化を図る
- ⑤事業・技術提携も視野に入れながら、事業領域の拡大を推進する
- ⑥将来の飛躍に向けた人材確保、人材育成の強化を図る

事業領域の拡大へ

主な経営施策の取組み状況

① 食品業界以外の新規顧客開拓の強化

■新規顧客・販路開拓の実績

受注実績ベース	07/7期	08/7期	09/7期
新規顧客開拓数	21社	30社	26社
業種	食品、製茶、製薬、健康食品、化学、ペットフード等	食品、製茶、健康食品、化学、ペットフード等	食品、製茶、製薬、健康食品、化学、ペットフード等
新規販路開拓数	3社	3社	3社
業種	エンジニアリング会社、機械メーカー	商社、機械メーカー	エンジニアリング会社、機械メーカー

海外顧客開拓の実績：4社

食品業界以外の
実績：7社
(大型案件 2社)



受注高578百万円
(前期比+385)

■販売促進活動

- ・ホームページ充実化と展示会(新機種発表)による新規顧客の発掘

■今後の主な取組み

- 化学業界・製薬業界の重点的開拓活動を継続
- 新機種販売による開拓
- 大型展示会(09/10月、10/4月)による販売促進活動

主な経営施策の取組み状況

② 独創的な商品開発の推進

■ 開発部・技術部の体制強化

単位:人、百万円

	07/7期	08/7期	09/7期
開発部人員	9	9	10
技術部人員	15	17	18
研究開発費	127	83	110

電子制御課を設置
(新機種の制御開発も担当)

研究開発投資を増加

■ 開発実績(09/7期)

- ・医療品包装用新機種を開発 (輸液バック用)
- ・インラインチェッカー対応新機種を開発 (高精度充填仕様、小麦粉等用)
- ・水洗い対応新機種を開発 (安全・衛生仕様、冷凍食品等用)

■ 今後の主な取組み

- 開発部・技術部の連携強化
- コア技術開発の強化
- 新たなマーケット開拓のための新方式包装機、検査装置等の開発

食の安全・衛生面に対する諸問題



新たな
マーケットの
開拓へ

海外へ

ドライ分野
以外へ

主な経営施策の取組み状況

③ 海外マーケット開拓

■海外市場の実績

* 海外部品売上高含む

	07/7期	08/7期	09/7期
海外売上高*	580百万円	371百万円	364百万円
売上高構成比	14.2 %	10.3 %	9.2 %
輸出国	フランス、アメリカ、 ポーランド、ベトナム、 インドネシア、中国 等	フランス、アメリカ、 カナダ、イギリス、 インドネシア、タイ 等	中国、タイ、ベトナム、 台湾、ロシア、カナダ 等
機械受注高	204百万円	186百万円	359百万円

米国代理店PTI社
(08/2月代理店契約)
最初の1台の実績が
出来た。
(カナダ:ペットフード用)
⇒水平展開を図る

アジア向けが
大幅に増加

■販売促進活動

- ・海外展示会(シカゴ)に出展(08/11月)
(米国代理店PTI社ブースへ1機種展示)
- ・代理店、窓口の販売支援

中長期的に、アジアを中心に、海外の
マーケットでも、安全・安心に対する要
求が高まり、高品質・高機能な包装の
需要拡大が期待される

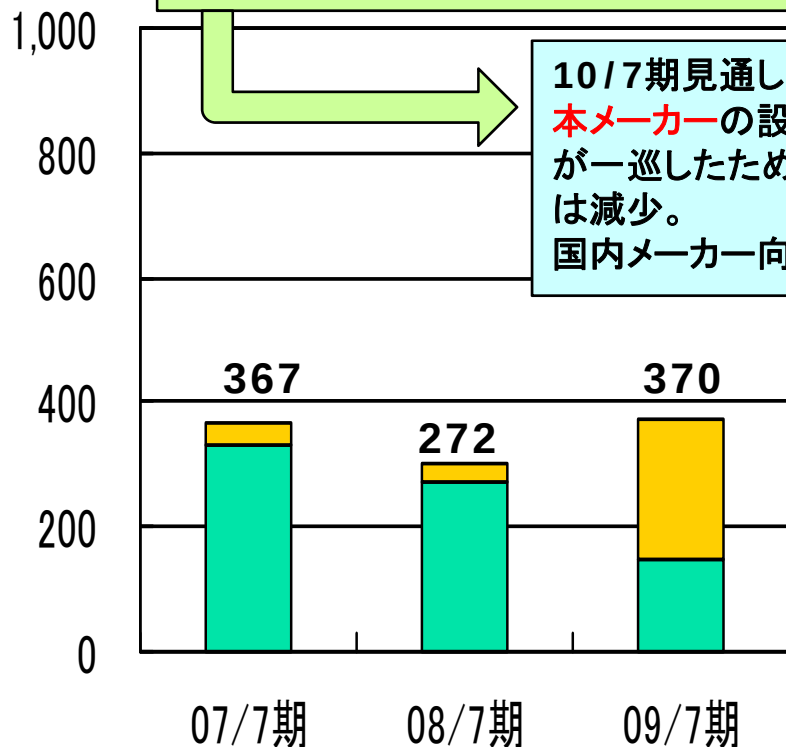
■今後の主な取組み

- 各地域(米国・ヨーロッパ・東南アジア)の代理店・窓口の販売支援の継続強化
- 新機種販売による開拓

ヘッドフット向けの機械売上・受注動向

海外大手メーカーの世界各地の工場向けが
全体売上の9割以上を占める
09/7期は、日本工場向け(国内売上高)
の実績も有り

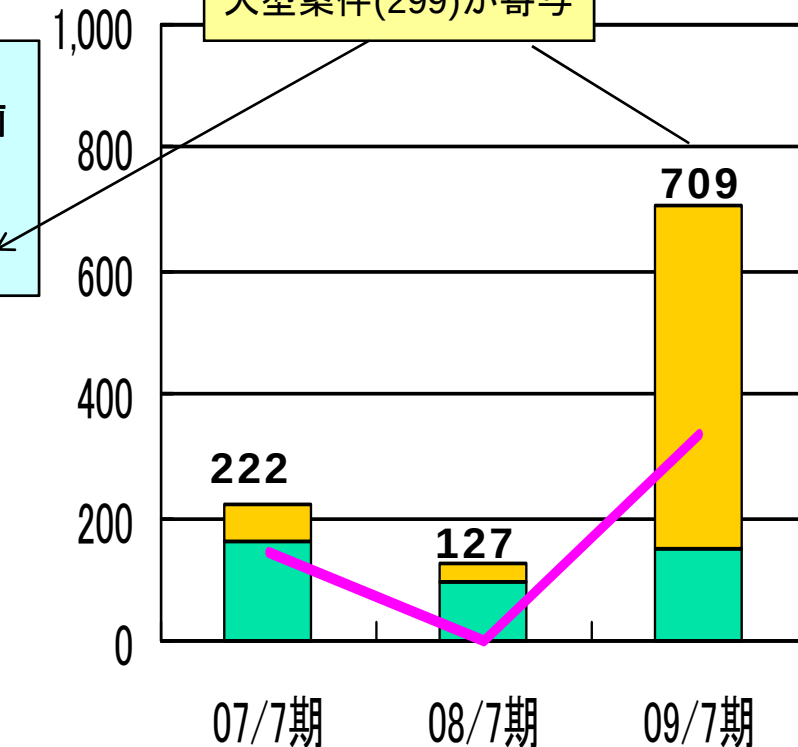
百万円



■ 海外売上高 ■ 国内売上高

10/7期見通し
本メーカーの設備投資計画
が一巡したため、海外売上
は減少。
国内メーカー向けが増加

百万円



新規国内メーカー
大型案件(299)が寄与

■ 海外受注高 ■ 国内受注高
— 期末受注残高

主な経営施策の取組み状況

④ 人材確保、人材育成の強化

(経営ビジョン) 挑戦心と活力あふれる『ものづくり企業』

■ 人材の確保

	07/7期末	08/7期末	09/7期末
従業員	101	106	109
臨時雇用者※	22	26	25

平均年齢
34.6歳
平均勤続年数
13.0年

・中途採用
経理1名
営業2名
資材1名

・嘱託採用 2名
(他社定年退職者)
技術アドバイザー
内部監査

※パート、嘱託、派遣

	08/4月	09/4月	10/4月予定
新卒採用	7	3	7

新卒採用活動は
ほぼ計画通りに
推移

■ 人材育成

- ・階層別教育、研修制度の充実化を実施中
- ・技術部の人材育成強化(設計業務の効率化コンサルティングを導入:この活動の中で)

09/7期: 設計 2日
10/7期: 設計 1日 生産 2日

■ 今後の主な取組み

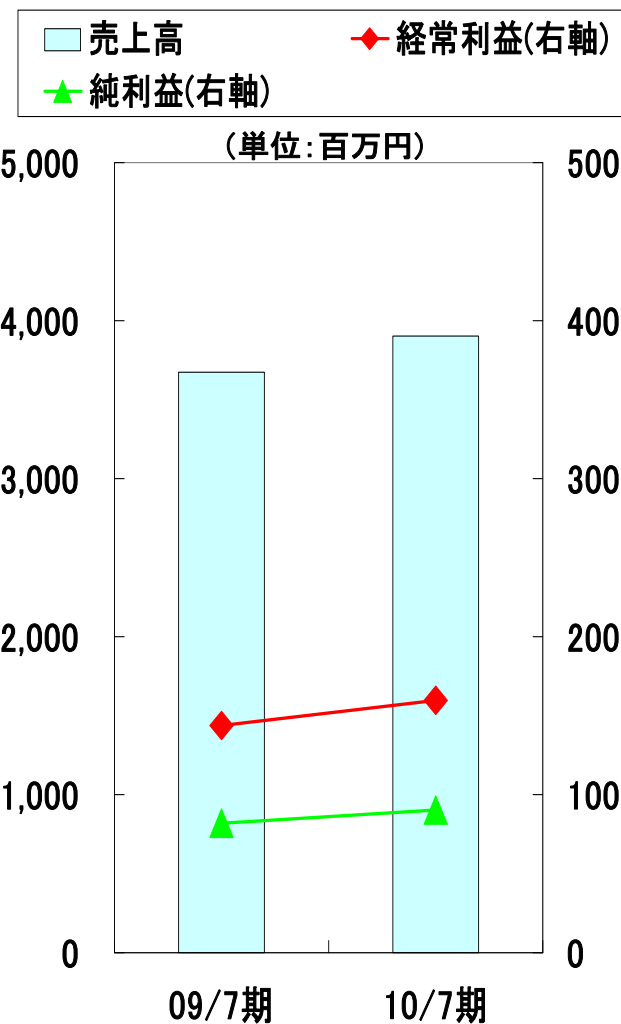
- 生産部の人材育成強化(効率化コンサルティングを生産業務へも拡大)
- 中途採用の継続
- 研修制度の充実化の継続と技術・技能伝承の仕組みづくり

2010年7月期業績予想

大型トータルシステムと高粗利益機種の実績増加により、増収・増益

(単位: 百万円、%)

	09／7期	10／7期	前期比	
	金額 (構成比)	金額 (構成比)	金額	率
売上高	3,674 (100.0)	3,900 (100.0)	+225	+6.1
売上総利益	953 (25.9)	1,065 (27.3)	+112	+11.8
営業利益	135 (3.7)	155 (4.0)	+19	+14.7
経常利益	144 (3.9)	160 (4.1)	+15	+10.6
当期純利益	82 (2.2)	90 (2.3)	+7	+8.9



株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向50%または純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2008/7期	2009/7期	2010/7期予想
中間配当	3.50円	3.50円	3.50円
期末配当	3.50円	3.50円	3.50円
年間配当	7円	7円	7円
当期純利益／株	8.03円	9.19円	10.01円
配当性向	87.2 %	76.2 %	69.9 %
DOE	2.3 %	2.2 %	2.2 %

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話:0568-23-3111

FAX:0568-22-3222

E-mail:info@general-packer.co.jp

